

～地区計画制度（既存集落維持型）を活用したまちづくり～

# 私たちが暮らす 地域のルールを考えてみよう

問い合わせ 都市計画課 (☎ 0866-92-8302)

全国的に人口減少や少子高齢化が進んでおり、地域コミュニティの維持が困難になるなどの課題が生じています。市では、こうした課題を解決するとともに、地域の魅力を生かしたまちづくりを進めていただくため、市街化調整区域における地区計画（既存集落維持型）の策定を推進しています。自分たちが暮らす地域の未来のため、新しいルールづくりに取り組んでみませんか。

制度の詳細は、市ホームページに掲載しています。



市 HP

## Q 市街化調整区域とは？

総社市の都市計画区域（昭和地区以外）は、「市街化区域」と「市街化調整区域」に分けられています。市街化調整区域は“市街化を抑制すべき区域”とされ、無秩序な市街化を防ぐために開発行為や建築行為に一定の制限があります。

現在、市街化調整区域では地域活力の低下が危惧されていて、既存集落を維持する取り組みが必要とされています。

## Q 地区計画って何？

住民の合意に基づいて、地域の特色を生かしたまちづくりを進めるルールを設定するものです。例えば、農地として維持する土地や、新たに居住する人のための住宅用地などを定めることができます。

既存集落維持型の地区計画は、現在の人口を維持し、地域の活性化を図ることを目的としています。

## Q 地区計画はどうやって作る？

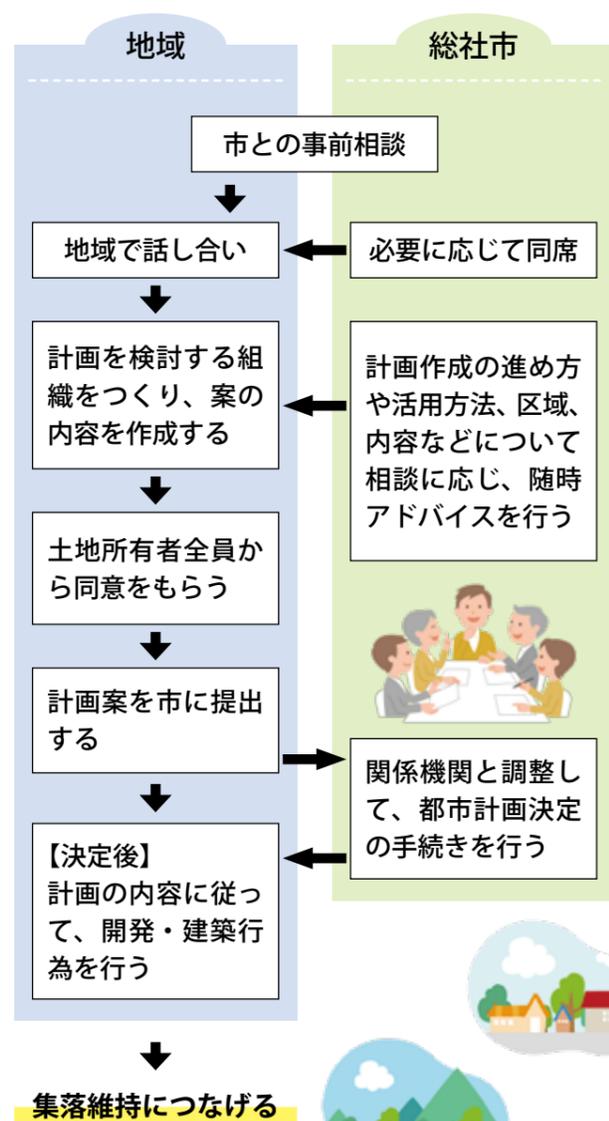


秦地区で行われた地区計画に関する会議

地域の皆さんが話し合い、土地所有者全員の同意を得て、計画案を作成するものです。

計画案の作り方や内容、話し合いの進め方などについて、市の担当者が相談に応じます。

## 計画作成の流れ



# 令和4年度 市民満足度調査結果

市では、第2次総社市総合計画後期基本計画を評価・検証するため、令和4年5月27日から6月30日まで市民満足度調査を行いました。市への愛着度や居住意向などを調査。結果は、政策を進めていく上での指標として、これからのまちづくりに反映させていきます。調査結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。

■対象 18歳から75歳までの市民2000人（無作為抽出）

■回答方法 郵送かインターネット

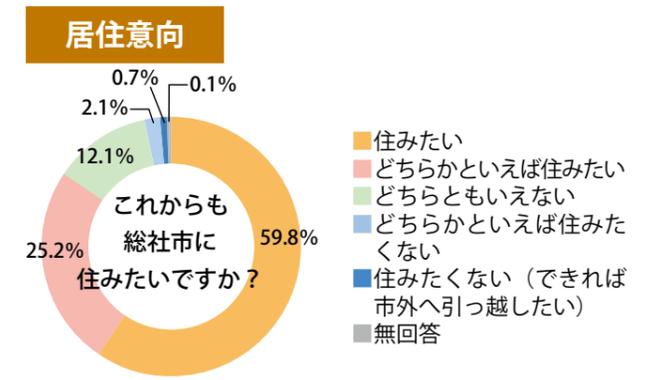
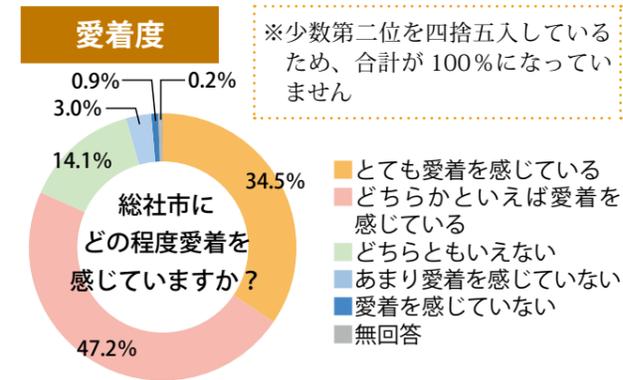
■回答者数 1266人

■回答率 63.3%

問い合わせ 政策調整課 (☎ 0866-92-8213)



市 HP



## 2023 そうじゃ吉備路マラソン

2月26日(日)、4年ぶりにそうじゃ吉備路マラソンが開催されます。当日は、コースの関連道路や周辺道路がランナー通過時には規制されます。ランナーと車両が併走する区間もありますので、付近を走行する際には注意してください。交通規制については、とじ込みの付録で確認してください。

ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

会場にはぜんざいなどの無料サービスがあるほか、岡山県を代表するご当地グルメや地元協力団体が出店します。

問い合わせ そうじゃ吉備路マラソン実行委員会事務局 (☎ 0866-92-8367、スポーツ振興課内)

## 大会ゲストが盛り上げる！



**中村友梨香さん**  
兵庫県出身。天満屋陸上部所属時にマラソン選手として活躍。

2008年北京オリンピックに日本代表として出場。2009年には、ベルリン世界陸上10000mで7位に入賞した。



**青山学院大学4年生 岸本大紀さん**

新潟県出身。青山学院大学陸上競技部に所属。出雲駅伝・全日本大学駅伝・箱根駅伝などで出走。第99回箱根駅伝で第9区走者を務め、5人抜きを達成。区間賞を獲得した。



**倉敷高等学校 男子陸上競技部**

昨年12月に開催された、男子第73回全国高等学校駅伝競走大会で、3度目の優勝を果たした。



**興譲館高等学校 女子陸上競技部**

昨年12月に開催された、女子第34回全国高等学校駅伝競走大会で、8位に入賞した。